

2024年 新年講演会のご案内

公益社団法人 日本技術士会茨城県支部
支部長 高橋正衛

日本技術士会茨城県支部では、「持続可能な社会の構築」をテーマに新年講演会を開催致します。本講演会は、ハイブリット（会場および Web 配信）にて開催いたします。詳細は、茨城県支部 HP にて、ご確認ください。

記

1. 日時：2024年1月27日(土) 13:30~18:30 (受付 13:00)

2. 場所：ワークプラザ勝田 2F 大会議
〒312-0052 茨城県ひたちなか市東石川 1279 番地
TEL 029-275-8000
<http://www.workplaza.or.jp/>

3. 受付開始 (13:00)

4. 新年挨拶 (13:30~14:00)

5. 講演会 (14:10~16:40)

(1) 講演 1 (14:10~15:20)

演題：『チバニアンと房総の地層』

講師：茨城大学理学部 理学部長

岡田 誠 氏

概要：約 46 億年間の地球の歴史は、地層に残されたさまざまな痕跡をもとに 116 の地質年代に区分されています。そして各地質年代の始まりの痕跡が世界で最もよく残された地層が、その年代の基準の地層 (GSSP) として選ばれ、その地層が見られる地域名にちなんだ地質年代名称がつけられます。中期更新世 (約 77.4 万年前~12.9 万年前) という地質年代区分は、2020 年 1 月に千葉県市原市の地層が GSSP として選ばれ、日本の地名にちなんだ初の地質年代「チバニアン期」と名付けられたのです。本講演では、この快挙をもたらした房総半島の地層が持つ類い希な特徴について解説します。

(2) 休憩 (15:20~15:30)

(3) 講演 2 (15:30~16:40)

演題：『霞ヶ浦の水質と生態系サービス』

講師：茨城県霞ヶ浦環境科学センター 主席研究調整監 桑名 美恵子 氏

概要：茨城県の東南部に位置する霞ヶ浦は、霞ヶ浦 (西浦)、北浦および常陸利根川の 3 水域からなり、面積は約 220 km² と琵琶湖に次いで日本で 2 番目に大きい湖です。また、霞ヶ浦は、水道用水をはじめとする水資源の安定的な確保に重要な役割を果たし、豊かな水産資源を育み、水郷筑波国定公園の一部として良好な景観を構成するなど、古くから人々に多様な恩恵をもたらしてきたかけがえのない貴重な資産です

霞ヶ浦の水質については、環境基準が設定されて以降約 50 年間の推移やその変動要因について解説します。また、霞ヶ浦から私たちが受けている恩恵については、「生態系サービス」という観点から享受量の変化などについてお話ししたいと思います。

6. 交流会（17：30～18：30）

立食形式の情報交換（アルコール有り、飲む方は徒歩、公的機関を利用のこと）

7. 会費：

- 1) 講演会：技術士会(会員 1,000 円、非会員 2,000 円)、一般 1,000 円
- 2) 交流会：全員 3,000 円

8. 参加人員：

- 1) 会場（一般、会員、非会員）：60 名（先着順）
- 2) Web 参加者（**会員のみ**）：100 名

9. 講演会へ参加について：

9.1 参加申し込みの方法：

- 1) **会員**：日本技術士会 HP 会員コーナーの技術士 CPD 行事申込一覧（会員）の「新 CPD システム」（会員 PSW が必要）にて、お申し込み下さい。

<https://www.engineer.or.jp/kaiin/password/cpdevent/cpdeventlist.php>

- 2) **一般、非会員**：茨城県支部 HP、E-Mail 又は、FAX にて、お申し込み下さい。

https://www.engineer.or.jp/c_shibu/ibaraki/

E-Mail：ibaraki@engineer.or.jp FAX：029-265-5558

9.2 申込期限：2024 年 1 月 18 日(水)

10. 問合せ：

公益社団法人 日本技術士会 茨城県支部

〒312-0005 茨城県ひたちなか市新光町 38 番地

株式会社ひたちなかテクノセンター内

E-Mail：ibaraki@engineer.or.jp TEL 029-219-5154

以上